

令和5年度第1回印西市補助金等評価委員会 会議録

- 1 開催日時：令和5年10月11日（水）
午後2時から午後3時まで
 - 2 開催場所：印西市役所 41会議室
 - 3 出席者：熱田委員、池田委員、木下委員、酒巻委員、斑目委員
 - 4 欠席者：なし
 - 5 事務局：高平総務課長、酒井課長補佐、一鍬田係長、石黒主査補、渡邊主査補
 - 6 傍聴者：2名
 - 7 議題
 - (1) 委員長の互選
 - (2) 副委員長の互選
 - (3) 補助金等の評価について
 - ①対象の補助金について
 - ②評価方法について
 - 8 会議資料
 1. 会議次第
 2. 資料1 印西市補助金等評価委員会設置要綱
 3. 資料2 補助金等一覧
 4. 資料3 補助金等ヒアリングシート
 5. 資料4 補助金等評価シート
 - 9 議事
- 議題（1）委員長の互選**

事務局 会議の議長につきましては、資料1の印西市補助金等評価委員会設置要綱第6条の規定により、委員長が会議の議長となりますが、委員長が選任されるまでの間、仮議長を事務局で行わせていただきたいと思います。皆様よろしいでしょうか。

委員 異議なし

仮議長 次第3の(1)、委員長の互選について、印西市補助金等評価委員会設置要綱第5条の規定により、委員長の選任は委員の互選により定めることとなっております。どなたか立候補や、推薦はございますか。

委員 事務局に一任します。

仮議長 委員の方から事務局に一任という提案がございましたが、いかがでしょ

うか。

委員 異議なし

仮議長 それでは事務局案でございますが、長年にわたり官公庁業務を務められ行政経験が豊富であることから、熱田委員を推薦させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員 異議なし

仮議長 それでは熱田委員、委員長をお願いできますか。

委員 はい。かしこまりました。

仮議長 それでは熱田委員に委員長をお願いいたします。

議題（２）副委員長の互選

議長 議長ということですのでこれからの議事進行をさせていただきます。次第３の（２）、副委員長の互選でございます。立候補される方、推薦される方いらっしゃいますでしょうか。

委員 意見無し

議長 特にならなければ、私の方で推薦させていただいてよろしいでしょうか。

委員 了承

議長 そうしましたら、副委員長は木下委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

委員 はい。かしこまりました。

委員 了承

議長 それでは、木下委員と皆様方の同意をいただきましたので、木下委員に副委員長をお願いしたいと思います。

議題（3）補助金等の評価について

議長 次第3の（3）、補助金等の評価について、①対象の補助金について、事務局からの説明をお願いします。

事務局 「①対象の補助金について」を説明いたします。資料2「補助金等一覧」をご覧ください。こちらは、令和5年度予算に計上されている補助金85件の一覧です。一覧表の見方についてご説明いたします。表の1列目「NO」の項目について、今回の補助金等評価委員会における評価対象としましては、黄色に色づけした14件について事務局案として提案するものでございます。過去に補助金等評価委員会に評価を受けていないもの、前回の補助金等評価委員会でD判定、E判定を受けているもの、この2点を前提条件といたしました。その中で、「評価対象から除く補助金」といたしまして、①国や県等の補助があるもの②前回評価がA判定・B判定・C判定のもの③令和4年度決算額が少額のもの、以上3項目を評価対象から除くことといたしました。2列目の「番号」の列に、評価対象から除く補助金が、何に該当するのか○番号で記載しております。委員の皆様におかれましては、提案させていただいた補助金14件以外に、関心のある補助金や、評価対象の追加等ございましたら、ご意見を頂きたく存じます。

議長 ただいまの説明について、委員の皆様からご質問等ございましたら、お願いします。いかがでしょうか。

委員 前回、平成30年に評価を行って、それ以降行われていないとのことですが、令和に告示された補助金もいくつかあります。ピックアップする基準として、直近のものは特にないのですか。

事務局 前回評価委員会でE判定D判定受けたものを前提条件として提案しているところですが、新しいものでも、国や県の補助金が紐づいているものは、なかなか廃止できない事情がございます。それと、前回評価がA判定B判定C判定のものですが、前回と同様の評価方法を用いる予定であることから、今回も同じ評価となる可能性が高いため、対象から除いております。また、令和4年度決算が30万以下のものですが、この補助金評価委員会の中で議論をせずに、総務課職員が財政担当部門による予算のヒアリングにも参加する予定で、ある程度一定の補助としての役割を終えたもの、また、もう継続する必要がないものとみなしたものにつきましては、廃止または集約化の検討を促したいと考えておりますので、今回、新規のものについても、今申し上げた3項目に該当しているものは、外して良いかも含めて委員の皆様にお伺いしているところでございます。

議長 今回評価する補助金の中で、総合計画等に位置付けられているものについてどのように考えていますか。

事務局 資料2「補助金等一覧」の右側に、市の定めた総合計画等の計画に基づいていますか、という列がございまして、基づいているものと基づいていないものとして、○×で記載がございまして。今回、計画に基づいているかは除外視して、この補助金の評価を行いたいと考えております。

議長 わかりました。一応、上位計画等で位置付けされていても、補助金としては、ゼロベースということもないけども、再度見直すというスタンスということですね。

事務局 はい。

委員 例えば33番の、農政課の小規模土地改良事業補助金、これは令和5年の4月に告示されたばかりで、まだ成果とかも出ていない段階で、この効果等が原課にもわからないのではないかなと思うのですが。

事務局 委員のおっしゃる通り、令和5年4月告示となっておりますが、それ以前の決算額を見ると、補助金の決算が出ております。要綱の見直しを令和5年4月にしたため、このような表記となっております。

委員 意見です。今回、評価実施する14件を選別した理由については、私は適切だと思っております。これからヒアリングして評価していくと思えますけれども、前回、一定の評価があったもの、国や県等の補助の紐づきがあるもの、それから少額のもの等は除いているということで、それも適切と思っております。ということで、この14件で妥当だと思えます。

委員 意見です。今後の資料の文字をもう少し大きく、見やすくしていただければと思います。

事務局 承知いたしました。

議長 他にないようですので、議題の①については終了とさせていただきます。次に、議題の②評価方法について、事務局の説明をお願いします。

事務局 「②評価方法について」を説明いたします。資料3「令和5年度 補助金等ヒアリングシート」をご覧ください。こちらは、委員の皆様へ評価して

いただく補助金について、担当課が作成するものです。ヒアリングシートは「基本情報」、「決算の状況」、「近隣市の状況」、「担当課としての該当の補助事業への評価」、「補助の状況」、に分かれており、これは、「印西市における補助金等の在り方」の「4 補助金等支出の適正等の評価」に準じて検証することとしております。このヒアリングシート等の内容を基にヒアリングを実施し、委員の皆様にご評価していただきます。また、各補助金の令和4年度の実績報告書や、活動内容のわかる資料、要綱を用意し、委員の皆様にご配布をいたします。

次に、資料4「令和5年度 補助金等評価シート（委員用）」について説明いたします。「評価項目」につきましては、「印西市における補助金等の在り方」の「4 補助金等支出の適正等の評価」に準じた評価項目としております。「補助事業の位置付けの判断」として、実施する事業が市にとってどのような位置付けとなるのかを、「必要性」、「将来性」、「目的の重要度」の3つの視点から評価をお願いします。次に「補助金支出の適正性の判断」として、事業の実施による効果について、補助金支出の適正性を「目的達成度」、「効果の範囲」、「効果の期待」の3つの視点から評価をお願いします。評価にあたりましては、補助金等評価シートの「概要」に評価する視点を記載しておりますので参考にしてください。「意見欄」につきましては、「評価項目」の結果から、「公益性について」、「必要性について」、「将来性を踏まえた今後のあり方」の3つの視点についてご意見をお願いします。

資料3、資料4につきまして、委員の皆様のご意見を頂きたいと存じます。

議長 ただいまの説明について、委員の皆様からご質問等ございましたら、お願いします。

委員 補助金名について、どのような内容か、すぐイメージできるものと、イメージできないものがあります。委員がわかりやすい補助的な資料を用意していただければと思います。

事務局 補助金の実績報告書や要綱等を皆様にお送りいたします。それだけで判断が難しい場合は、ご連絡いただきまして、補足の資料を用意します。

議長 確認ですけれども、このヒアリングシートのほかに、決算書等、例えば補助事業の概要がわかるようなものも、委員の手元にはとりあえず来る。その上でまだわかりづらいところがあれば、お問い合わせくださいということでしょうか。

事務局 令和4年度の実績報告書、活動内容のわかる資料、各補助金の要綱を準

備してお渡しするという考えております。

議長 わかりました。今聞いた範囲の資料があると、理解できるかなと思いますので、その上で不足があればお問い合わせするというところでよろしいですね。

委員 資料 3 で各部署が作成いただいたヒアリングシート、あと添付資料等を用意していただいて、各委員で書面を読んで判断する。それを最終的に資料 4 により評価するのか、書面を読んで評価するだけでなく、対面してやるかどうかを教えてくださいたいです。

事務局 事前に資料を用意し、ご確認いただいた内容を元に、1 月以降の予定で担当課をお呼びしまして、ヒアリングを実施させていただきます。ですから、書面審査ではなく、書面で内容を確認していただいて、不明点等を担当課にヒアリングしていただいて、評価をしていただく流れで考えております。

委員 1 月以降のヒアリングを終えた後、最終的に資料 4 を提出するという段取りで良いですか。

事務局 おっしゃる通りヒアリングが終わった後、1 度お持ち帰りいただいて、評価していただいた内容を後日回収させていただき、評価の結果として後程報告するという流れで考えております。

委員 資料 3、4 で、前回と違っているところや変わっているところがありますか。

事務局 資料 3 の 2 ページ目、担当課としての該当の補助事業の評価というところがありまして、こちらは前回、委員の方に評価していただいていた部分なのですが、結果的にこの評価をしていただいても、点数や評価がつけられるものではないので、担当課に記載していただいた方が、内容としてはすべて把握できるのではないかと、委員さんの方で判断が難しいのではないかと、ということがありまして、担当課に記載してもらった内容に変更しております。もう 1 点、3 ページ目ですが、8 番目、平成 30 年補助金等評価委員会の対象の場合ということで、前回の評価委員会の判定を受けてから見直しや改善した点を記入してください、という項目を追加しております。E 判定を受けたものでございますので、それから継続しているということは、やはり何か見直し、改善等しているものと思われまして、そういった内容について記載してください、という項目を追加いたしま

した。以上2点でございます。

委員 前回の評価委員の経験からお話しますと、各担当課とのヒアリングで、1課30分程度あればかなり込んだお話ができますので、そこでも疑問点はほとんど聞いていただくことができるかなと思います。

委員 この補助金は何の事業に紐づいているのかなど、そこら辺も含めて教えていただけると嬉しいです。この補助金があることによってその事業がどのように効果的になっているのかというところを伺いたいと思っていますので、資料の基本情報等で、そういうところがわかると嬉しいです。

事務局 そのような点も含めて、委員のみなさんがわかりやすいものをこちらもしっかり資料を確認してお出ししたいと考えております。

議長 資料4、我々が記入する評価シートですが、その事業に対しての、総合点の出し方はどのような形になりますか。

事務局 委員の皆様の点数をもとに平均点を出しまして、前回の評価と同じく、今回もAからEの5段階評価の方で考えております。公益性、必要性、将来性、三つの視点で評価していただき、皆様の評価を平均で出しまして、公益性、必要性、将来性が高いと評価された補助金がA判定、公益性、将来性が高いが必要性が低いと評価された補助金はB判定、公益性が低いが将来性、必要性が高いと評価された補助金がC判定、公益性、必要性が低いが将来性が高いと評価された補助金がD判定、公益性、必要性、将来性すべてが低いと評価された補助金がE判定と考えております。平均で3点以上を満たしていれば高い、3点未満のものにつきましては低いと。前回と同じ基準で今回も評価の検討をしているところでございます。

議長 他に質問がないようですので、議題の3の②評価方法については、終了とさせていただきます。
その他について事務局の方から何かあればお願いします。

事務局 次回、第2回から第4回の日程につきまして、第2回は1月15日月曜日の午後1時から5時まで、最大で実施する予定です。第3回につきましては1月24日水曜日、第4回につきましては2月2日の金曜日、こちらも同じく午後1時から5時までの時間を確保いただければと思っております。現時点で、委員の皆様で都合の悪い日付はありますか。

委員 意見無し

事務局 それでは、こちらのスケジュールで調整させていただきます。今回見ていただいた資料 3 を担当課で作成していただき、参考資料と併せて皆様に先に送らせていただいた後、もし質問等あれば、事前にいただいて、担当課に伝えます。その後、本番のヒアリングを迎えまして、皆様に担当課にご質問いただく予定です。

議長 資料等を事前に送っていただいて、その時点で疑問点等あれば、事務局に問い合わせをさせていただくという手順で行った方が、ヒアリングがスムーズに行われるだろうということですね。そのような形で我々も準備します。その他は特にないですか。

委員 委員が資料を見る時間を、なるべく長めにとっていただきたいと思います。できるだけスムーズなヒアリングにしたほうがいいと思いますので、事前に質問がわかるようでしたら、ヒアリングを受ける担当課も、その質問に対する回答を用意していただければ、スムーズなヒアリングになると思います。

議長 まさにおっしゃる通りだと思いますので事務局の方その点、ご配慮いただければと思います。
他にないようでしたら、以上で会議を終了とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

令和 5 年 1 0 月 1 1 日に行われた第 1 回印西市補助金等評価委員会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

会議録署名委員 熱田 照夫